

公立大学法人 周南公立大学
令和4年度 業務実績評価書

令和5年8月

周南市公立大学法人評価委員会

目 次

I	令和4年度の業務実績評価について	P 1
II	評価結果	
1	全体評価	P 5
2	大項目別評価	
I	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	
①	教育に関する目標を達成するための措置	P 7
②	研究に関する目標を達成するための措置	P 8
II	地域社会との連携・共創、地域貢献に関する目標を達成するための措置	P 9
III	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	P 10
IV	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	P 11
V	自己点検、評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	P 12
VI	その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置	P 13

(別冊) 小項目別評価

I 令和4年度の業務実績評価について

1 評価実施の根拠法

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和5年法律第58号）附則第3条第3項の規定によりなお従前の例によることとされる同法による改正前の地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第1項

2 評価の対象

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）業務実績

3 評価者

周南市公立大学法人評価委員会

氏名	所属等
岡 正朗	山口県立大学 理事長 ／前山口大学 学長
加登田 恵子	山口県立大学 名誉教授／前山口県立大学 学長 ／西九州大学 特任教授
浜田 敬子	ジャーナリスト／前 Business Insider Japan 統括編集長
秋山 一正	公認会計士
山縣 俊郎	株式会社 山縣本店 代表取締役社長 ／前山口県教育委員長

4 評価実施の経過

- 6月30日 法人から業務実績報告書の提出
- 7月21日 令和5年度第1回評価委員会開催
- 7月31日 令和5年度第2回評価委員会開催
- 7月31日 評価書原案決定
- 8月1日 評価書原案を法人に提示
- 8月7日 評価書原案に対する法人意見の提出
- 8月7日 評価書の確定

5 業務実績評価を実施するに当たっての基本方針

- (1) 評価は、大学における教育研究の特性や運営の自主性、自律性に配慮して行うものとする。
- (2) 評価は、中期目標の達成に向けた中期計画または年度計画の実施状況を確認する観点から行うものとし、次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとする。
- (3) 評価は、法人運営の継続的な改善・質的向上に資する評価を行うものとする。
- (4) 評価は、中期目標の達成に向けた取り組みを分かりやすく示すことによって、透明性の確保を図るとともに、社会への説明責任を果たすものとする。
- (5) 評価は、必要に応じて工夫・改善を行うものとする。

6 評価方法

- (1) 評価は、法人の自己点検・評価に基づいて行った。
- (2) 評価は、書面調査、ヒアリング及び現地視察を通じて行った。
- (3) 評価は、①小項目別評価・②大項目別評価及び③全体評価により行った。
- (4) 評価の透明性・正確性を確保するために、評価結果を決定する前にその結果を法人に示し、意見の申立ての機会を設けた。

①小項目別評価

年度計画の記載項目（小項目）ごとに、当該事業年度における中期計画の進捗状況について、以下の5段階により評価を行った。

その際、法人の自己評価と評価委員会による判断が異なる場合、また、評価委員会において必要がある場合はコメントを付した。

【小項目別評価 評価基準】

評価	定義
5	年度計画を大幅に上回って実施している（特に優れるもしくは顕著な成果がある）
4	年度計画を上回って実施している（上回るもしくは十分な実施状況）
3	年度計画をおおむね実施している（実施）
2	年度計画を十分に実施できていない（下回るもしくは実施が不十分）
1	年度計画を大幅に下回っている（特に劣るもしくは実施していない）

②大項目別評価

小項目別評価の結果を踏まえ、6つの大項目（7区分）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、以下の5段階により評価を行った。

【大項目（7区分）】

1	I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ①教育に関する目標を達成するための措置
2	I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ②研究に関する目標を達成するための措置
3	II 地域社会との連携・共創、地域貢献に関する目標を達成するための措置
4	III 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
5	IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
6	V 自己点検、評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
7	VI その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置

【大項目別評価 評価基準】

評価	定義	判断の目安
s	中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である	小項目別評価の各項目の評定の平均値が4.3以上であり、かつ、業務の進捗状況や特記事項の内容に特筆すべき進捗や取組があると評価委員会が認める場合
a	中期計画の達成に向け順調に進捗している	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「a」と認める場合 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「a」と認める場合
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「b」と認める場合 小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「b」と認める場合

c	中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「c」と認める場合 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「c」と認める場合
d	中期計画の達成のためには進捗が遅れており、改善の必要がある	小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.8以下であり、中期計画の達成のためには改善の必要があると評価委員会が認める場合

③全体評価

大項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務実績の全体について、以下の5段階により評価を行うとともに、記述式により総合的な評価を行った。

【全体評価 評価基準】

評価	定義
S	中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している
B	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している
C	中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている
D	中期計画の達成のためには進捗が遅れており、改善の必要がある

Ⅱ 評価結果

1 全体評価

(1) 評価結果

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している

(2) 総評

法人設立の初年度となる令和4年度の業務実績は、第1期中期目標における最重要事項である学部学科の改編に向けた様々な取組をはじめ、中期計画に掲げる取組について着実に進捗を図られていることから、「中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している」と評価する。

教育の質の向上に向けた取組として、「数理・データサイエンス・AI応用教育プログラム（応用基礎レベル）」を1年前倒しで認定を受けられ、情報教育の強化に取り組まれていることを評価する。また、学生満足度調査結果において9割以上が「満足」「どちらかといえば満足」との結果となったことや教職員による学生支援体制により中退・除籍率が大幅な改善となったことは、大きな成果と評価できる。起業部や地域貢献推進委員会といった学生団体が活発的に活動されていることから、学生にとって充実した教育環境であることが伺え、今後も高い学生満足度を維持できるよう、教職員一体となって取り組まれことを期待する。

地域との連携においては、地域共創型インターンシップの受け入れ企業が前年度から大幅に増加したことや、個人や企業等から41件、約2,339万円の寄附を受けたことは大きな成果であり、公立化したことにより地元企業からも大きな期待が寄せられていることが伺える。

地域の社会人層のキャリアアップを目的としてデジタルトランスフォーメーション（DX）に関する履修証明プログラムを新たに開講されたことも評価できる。受講者の獲得に課題はあるものの、DXに関するリスキリングは国も力を入れており、地域の期待も大きい分野であると考えられるため、地元企業など地域からのニーズも取り入れたプログラムの開発に努めていただきたい。

周南地域は、全国的にも高い産業力を持つ地域であり、コンビナート企業を中心に多様な企業が集積する大きな強みがある。こうした地元企業との繋がりを教育研究力に活かすことは周南公立大学の大きな特色となり得る。今後の地元企業との連携強化やCBL（コミュニティベースドラニング）など地域との協働による教育活動の発展に期待する。

安定的な法人経営・大学運営を図る上で重要となる入学者の確保に向けては、令和5年度入学者選抜の志願倍率は、前年度の7.7倍を上回る9.7倍、特に一般選抜の

志願倍率は、全国の国公立大学の中で第1位となる20.0倍であった。これは、さまざまな媒体を通じた情報発信や高校訪問など継続的な学生募集活動を実践されるとともに、魅力ある大学づくりに努められている結果であると評価できる。

公立大学法人として初年度であった令和4年度は、運営体制の整備など組織としての基盤形成を行いつつ、地域貢献型大学として積極的に新たな取組を進められ、順調なスタートを切られたものとする。

公立化という改革を遂げ、令和6年度には現在の2学部3学科を3学部5学科に改編する大きな改革も進行中であるが、大学が地域に存続し続けるためには、常に改革を続けていくことが必要である。

引き続き、市からの公的資金を財源とする公立大学法人として安定的で適切な大学運営を行うとともに、現在の積極的な姿勢を今後も維持し、地域の「知の拠点」として周南公立大学ならではの特色ある取組が進められることを期待する。

〈大項目別評価結果〉

	S	A	B	C	D
	特筆すべき 進捗状況	順調に進捗	おおむね 順調に進捗	やや遅れて いる	改善の必要 あり
I ① 教育に関する目標			○		
II ② 研究に関する目標			○		
II 地域社会との連携・共創、地域貢献に関する目標			○		
III 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
IV 財務内容の改善に関する目標			○		
V 自己点検、評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標			○		
VI その他業務運営に関する重要事項			○		

2 大項目評価

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

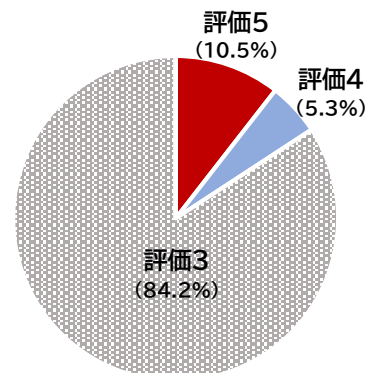
評価	評価基準	評定平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.3

(1) 評価理由

小項目別評価において、19項目中2項目が「5」（年度計画を大幅に上回って実施している）、1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、16項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評定平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：19 (No.1~No.19)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	2	1	16	0	0
	10.5%	5.3%	84.2%	0%	0%



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しており、合計100%とならない場合があります。(以下、同様)

(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・令和5年度に認定を受ける計画であった数理・データサイエンス・AI応用教育プログラム（応用基礎レベル）について、計画を1年前倒して、令和4年度に認定を受けたこと（No.2）
- ・学生支援体制や留学生のサポートを強化したことにより、中退・除籍率が大幅に改善している（No.17）
- ・令和4年度の周南公立大学卒業生を対象としたアンケートで、教育サービス全般について、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した学生が93.1%であること（No.19）

〔今後期待される点〕

- ・学生支援体制等の強化や、教育サービス全般の学生満足度については、今後の志願者にも影響することから、現在の高い水準を維持されたい（No.17、19）

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

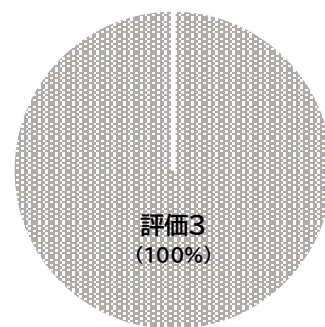
評価	評価基準	評定平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、7項目中7項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：7 (No.20～No.26)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	0	0	7	0	0
	0%	0%	100%	0%	0%



(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・ URAを中心に、学内の研究の活発化、産学連携への意識の醸成を目的に、企業マッチング会、学内シーズ研究会、産学マッチング交流会を開催したこと、また、各学科・専攻の研究推進への意識の醸成を図っている (No.20)
- ・ 地域課題の解決、地域振興に寄与する共同研究講座や受託研究等を計画どおり実施している (No.21)
- ・ 教員の採用に関して、若手研究者、女性研究者、外国人研究者を積極的に採用している (No.23、53)

〔今後期待される点〕

- ・ 周南市は、コンビナート企業も多数あることから、地域活性化のための研究を含め、企業と幅広く連携、協働していただきたい (No.21)

Ⅱ 地域社会との連携・共創、地域貢献に関する目標を達成するための措置

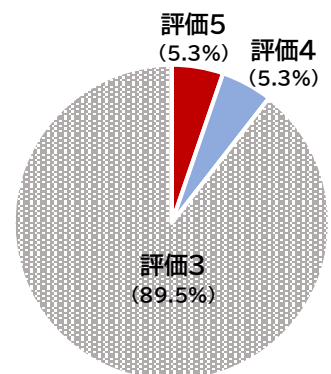
評価	評価基準	評定平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.2

(1) 評価理由

小項目別評価において、19項目中1項目が「5」（年度計画を大幅に上回って実施している）、1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、17項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評定平均値が3.2となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：19 (No.27～No.45)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	1	1	17	0	0
	5.3%	5.3%	89.5%	0%	%



(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・履修証明プログラムを開講したこと (No.30)
- ・地域への定着を促進するため、インターンシップ受け入れ企業を前年度の32社から62社に拡大していること (No.38)
- ・地域活性化活動を学生が自主的に取り組むことができるよう、地域活動を推進する学生団体である、地域貢献推進委員会を立ち上げたこと (No.42)

〔今後期待される点〕

- ・履修証明プログラムは、今後、受講者が増えるよう、地域ニーズの把握や、企業経営者へのリスキリングの理解促進に取り組み、より充実したプログラムを開発していただきたい (No.30)

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

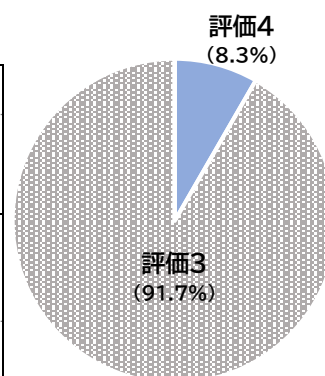
評価	評価基準	評価平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、12項目中1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、11項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評価平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：12 (No.46～No.57)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	0	1	11	0	0
	0%	8.3%	91.7%	0%	0%



(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・大学の教育研究活動を広く周知するため、広報誌の発行やSNSなど多彩な手法を用いたの情報発信や、地元自治会との防災協定の締結や意見・要望の交換を行う体制を構築したこと (No.50)
- ・教員の採用に関して、若手研究者、女性研究者、外国人研究者を積極的に採用している (No.23、53)
- ・学内の会議資料のペーパーレス化を実施したこと (No.56)

〔今後期待される点〕

- ・新学部学科改編に対応した適切な教育研究組織体制への見直しを行うとともに、ガバナンスを強化し、不断の業務改善や機能連携の高い組織体制の構築に取り組みたい (No.46)

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

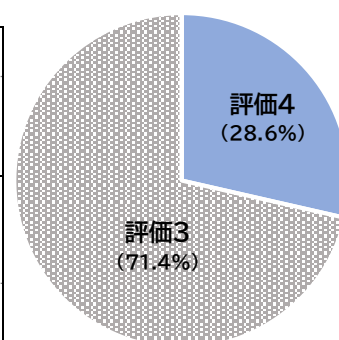
評価	評価基準	評価平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.3

(1) 評価理由

小項目別評価において、7項目中2項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、5項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評価平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：7 (No.58～No.64)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	0	2	5	0	0
	0%	28.6%	71.4%	0%	0%



(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・外部資金の獲得として、科学研究費収入が、令和3年度と比較して、約57%増の1,730万円の獲得予定となっていること (No.60)
- ・学生の修学支援や多様な連携活動のため、周南公立大学基金を創設し、オンライン寄附「F-REGI」の導入や、アーリーエクスポージャー型インターンシップ受入企業を中心とした寄附金募集活動の展開により、個人や企業から41件の賛同をいただき、約2,339万円の寄附金を受け入れられたこと (No.61)
- ・地域に開かれた大学として、周南市立図書館（中央図書館他5館）と連携し、相互返却サービスの開始など、利用者サービスの向上に努めたこと (No.64)

〔今後期待される点〕

- ・今回、私立大学時代の決算及び令和4年度の財務シミュレーションに基づく分析をされているが、今後は、公立大学としてより精度の高い分析を行い、財務状況の改善につなげていただくことを期待する (No.58)

V 自己点検、評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

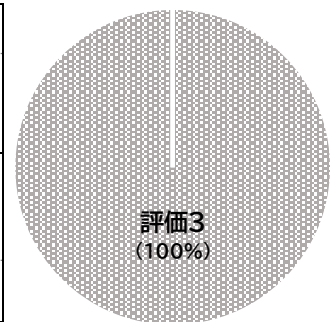
評価	評価基準	評価平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、4項目中4項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評価平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：4 (No.65～No.68)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	0	0	4	0	0
	0%	0%	100%	0%	0%



(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・教育研究活動や地域貢献活動を広く周知するため、広報誌の発行やSNSなど多彩な手法を用いて情報発信をしていること、また、メディアにも積極的な発信を行い、テレビの放映が前年と比較して4倍になっており、法人の認知度向上につながっている (No.67)

〔今後期待される点〕

- ・令和4年度に定めた自己点検基準を基に、PDCAサイクルを適切に機能させ、継続的な教育研究の質向上、組織運営の改善につなげていただくことを期待する (No.65)

VI その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置

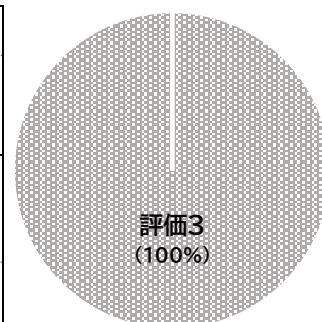
評価	評価基準	評定平均
b	中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している	3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、5項目中5項目が「3」（年度計画をおおむね実施している）の評価結果となった。評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「b」評価であり、中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗していると認められる。

【小項目別評価結果】 項目数：5 (No.69~73)

評価	5	4	3	2	1
	大幅に上回って実施	上回って実施	おおむね実施	十分実施できていない	大幅に下回っている
小項目別評価結果	0	0	5	0	0
	0%	0%	100%	0%	0%



(2) 概況

〔評価できる点〕

- ・学生団体である地域貢献推進委員会とSDGsアンバサダー組織を立ち上げ、子ども食堂への参加や中学校で行ったSDGs勉強会が報道機関に取り上げられ、大学のイメージアップにつながった (No.73)

〔今後期待される点〕

- ・快適かつ安全な教育環境を提供するため、施設及び設備の適切な維持管理を行うとともに、将来的な施設整備に向けて必要な取組を計画的に進められたい (No.69)